

杉の下近辺にもどる会 ニュース 第15号

発行：杉の下近辺にもどる会，発行日：2014年4月，編集協力：首都大学東京チーム

3月2日(日)第17回勉強会を開催

第17回勉強会で検討した内容は次のとおりです。

1. 防集事業の進捗と移転宅地の借地契約について

市役所防集課の職員2名に参加いただき防集事業の進捗を、またPCKKより「移転住宅団地の分譲・借地契約」について次のような説明と質疑がありました。

- 地権の存続期間は52年間。転貸は禁止。借地期間中に買取が可能(ただし中途買い取りの場合、利子補給が受けられない)。
 - 利子補給は住宅完工後に一括して口座振込される。申請メ切は今のところ2016年3月。
 - 合併浄化槽(低炭素型)の設置費用助成が適用可能。復興交付金で予算化。防災分は確保している。従前の補助額よりUPしている。
 - 事業進捗見込みとして、今週買収面積確定。今月末(3月末)実施設計完了。工事着手の目処が立ったら説明会を予定。事業説明会は3回を予定しており、第1回工事着手時、第2回完工半年前、第3回完工引渡し時、です。
 - 住宅本体の建築確認申請のタイミングとして、市からの借地契約書類をもって受理。これは造成工事完了の半年前くらいになりそう。
- ★確認申請してから、少しやりとりが出てきそう。引き渡し後にすぐに着工を考えるともう少し早くならないか? 9ヶ月前くらいだと助かる(連さん)

2. 住宅地設備(ゴミ置き場、防犯灯等)の検討

各敷地の高さや高低差処理等の造成設計案が決まったことをうけて、首都大にて1/200造成敷地模型を作成し住棟配置や駐車場の位置などを検討しました。また共用設備として必要性の高いゴミ置き場や防犯灯、電柱の位置等について、模型を元に検討しました。

【ゴミ置き場】

- 自治会で調整して市に申請。20戸で1基が基本。
→牧自治会のゴミ置き場の様子について相談。

【防犯灯】

- ゴミ置き場と同じく中央付近に設置してはどうか。合わせて各戸引き込みのための電柱も併設してはどうか。
- 防犯灯についても町会自治会との調整・申請が必要

【つながる道】

- 避難道路になりそう。
- 昔は家があって、その家族の出入りに使っていた。公図上は「赤線」扱いか?
- 無理に拡幅しなくてもよいのでは。

【その他】

- 防火水槽→構造はFRP製
- 地域内に分散している墓地→集約する意見も出てる。
- 道路と緑地→ほぼ同じ高さ。だが、排水を考えると緑地を少し高く

住宅地周辺L型工による段差あり柵を付けた方が良かったかも。



ゴミ置き場と防犯灯を団地中心に設置



造成設計図面と1/200敷地模型をもとに検討

次回は4/27(日)13時半から 階上公民館

防集事業進捗状況の確認と今後の勉強会の取り組みについてを予定してます。